

令和4年度刈谷市ごみ減量化推進会議議事録

日 時	令和4年9月27日（火）午前10時00分～午前11時2分
場 所	刈谷市役所1階 101会議室
出席者	ごみ減量化推進会議委員 15名出席／19名（別添委員名簿の通り） 事務局 産業環境部 伊藤部長 ごみ減量推進課 熊澤課長、田崎課長補佐、岡田係長、大橋
議題等	会長・副会長の選出 議題 （1）ごみ減量化の進捗状況と施策について （2）一般廃棄物処理基本計画の策定について その他 （1）ごみ収集車の火災事故について （2）ペットボトルの持続可能なリサイクルの取り組み「ボトル to ボトル」について （3）清掃センターの移転新築について
<p>1 あいさつ</p> <p>（1）あいさつ【近藤副市長（※会長選出前のため）】</p> <p>前任者の任期は今年の3月31日で満了し、今年度、再任の方も含め、新たな任期の委員として19名の方をお願いをした。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が未だ収束しない状況ではあるが、本日、第1回目の会議を開催することができたことについて、感謝申し上げます。今後2年間において、委員の協力により、この会議を通じて、本市のごみ減量化を図るとともに、さらなる循環型社会の構築を推進していきたいと考えている。各立場からの多様な意見を頂戴したい。</p> <p>（2）会議の説明等</p> <p>事務局より、配付資料17ページ「刈谷市ごみ減量化推進会議設置要綱」に沿って説明。本日は委員19名中15名が出席。過半数の出席であるため会議として成立する。</p> <p>2 会長、副会長の選出</p> <p>要綱第3条第3項の規定により選出を行う。委員の互選により、会長は愛知教育大学の榊原委員、副会長は刈谷市自治連合会の深谷委員が選出される。</p> <p>3 議題</p> <p>（1）ごみ減量化の進捗状況と施策について</p> <p>事務局より、配付資料1～12ページに沿って説明。</p> <p><質疑応答></p> <p>【委員】</p> <p>資料8ページ イ 資源回収奨励報償金の交付について、回収実績が年々減少しているが原因は何か。</p>	

【事務局】

はっきりした原因は不明だが、電子書籍の普及により、紙の排出量が減少したことが理由の1つとして考えられる。また、新型コロナウイルスの影響により、子ども会等の団体が集まりにくくなり、活動が難しくなったことも原因ではないか。

【会長】

確かにコロナの影響は非常に大きいと考えられる。

【委員】

中学校で毎年廃品回収を行っており、今年度も活動を行いたかったが、業者から利益が少ないのでやれない。と言われた。こうしたことも実施団体の減少に繋がっているのではないか。廃品回収等の活動に対し、補助等は考えていないか。

【会長】

すぐに対策等は難しいと思うが、団体数の減少という事で、何か情報などを掴んでいけば教えてほしい。

【事務局】

団体数の減少について、現在情報を掴んでおらずはっきりした事は不明である。

【会長】

わからない部分が多いとは思いますが、今後の課題の1つとして認識できたのではないか。

【委員】

アルミ缶等ごみの持ち去りに対して対策は考えていないか。

【事務局】

持ち去り対策については現在対策を行っていない。近隣市でも対応に苦慮しているとの事。来月近隣市との清掃会議が開催され、議題の1つとなっているため、近隣市と情報共有したい。

【会長】

ごみの持ち去りが多発すると、市民のごみ分別収集に対するモチベーションが低下して、再資源化の低下に繋がりがねない。

【委員】

先日の台風の際、クリーンセンターにごみを持って行くとクリーンセンター前の信号で非常に渋滞していた。年末年始などは刈谷東高校の辺りまで渋滞することもある。混雑状況をリアルタイムで表示できれば、渋滞解消に繋がるのではないか。

【委員】

ゴールデンウィーク、お盆、年末年始は毎年ごみを出す人が増える。毎年、こうした繁忙期は係員を1人追加し、市民の搬入は受付で刈谷・知立市民の確認のみ行い、最後の計量をしない簡素化することで渋滞の緩和を図っているが、渋滞は避けられないものになっている。現状、リアルタイムでの渋滞情報の発信は難しいが、クリーンセンターのホームページで渋滞予測を配信している。今後もリアルタイムの渋滞の情報配信について検討していきたい。

【会長】

現状の問題点が明らかになった。一方でいかにリユース、リサイクルを進め、ごみの排出量を少なくするかという点も大事である。ごみの排出量が少なくなり、市民がクリーンセンターに運ばなくてもごみが回収されれば、渋滞の緩和にも繋がる。

(2) 一般廃棄物処理基本計画の策定について

事務局より、配付資料13ページに沿って説明。

<質疑応答>

質問及び意見なし。

4 その他

(1) ごみ収集車の火災事故について

事務局より、配付資料14ページに沿って説明。

<質疑応答>

【会長】

ごみ収集車の火災について、対策は行っていないか

【事務局】

アパートが集中している場所等で、入居者に対して適切な分別を周知するよう、管理会社に対し依頼したことがある。

【会長】

ほんのちょっとした不注意で火災が起こるので、今後も啓発を進めてほしい。

(2) ペットボトルの持続可能なリサイクルの取り組み「ボトル to ボトル」について

事務局より、配付資料15ページに沿って説明。

【委員】

今まで通りペットボトルを出せば、水平リサイクルされるのか。

【事務局】

その通りである。

【会長】

今回の取り組みは、刈谷市がリサイクルを進めるという大きな意気込みが感じられるものである。

(3) 清掃センターの移転新築について

事務局より、配付資料16ページに沿って説明。

【委員】

清掃センターは何をするところか。

【事務局】

事務職員と作業員が勤務しており、ごみ収集車が出発する場所である。また、作業員の休憩スペースも兼ねている。

【委員】

事務所のようなところか。

【事務局】

その通りである。

(4) その他

【委員】

今回の項目と直接関係はないが、環境に配慮して、ごみ袋にバイオプラスチックを使う予定はあるか。大府市では、ごみ袋はバイオプラスチックに代わっている。刈谷市はどうか。

【事務局】

西三河でも安城市はじめバイオプラスチックのごみ袋の導入を検討している市がいくつかあると認識している。刈谷市でも530運動用として配布するごみ袋にはバイオプラスチックを使用したものを配布している。ただし一般家庭のごみ袋にバイオプラスチックを使用した場合、昨今の原材料の高騰等もあり、ごみ袋が、従来の2倍3倍の値段になってしまう可能性がある。今後の状況を見ながら検討するが、現在導入の予定は無い。

【会長】

バイオプラスチックと価格のバランスが取れてくるようであれば、導入を議論しても良いと思う。先を見据えて施策を打っていく必要がある。刈谷市は自動車産業都市であるから、多くのプラスチックが日々使用されている。市民と繋がることで何か良い知恵が出せるのではないだろうか。

【会長】

活発な意見交換ができたことを大変嬉しく思う。本日の意見を踏まえ、今後の施策に活かしてほしい。また、来年の第2回の会議は計画の策定に向けて更に活発な議論を期待したい。

【事務局】

次回の会議は、令和5年の1月から2月に開催したいと考えている。

閉会